

子宮の  
入口付近に  
できるがん。

20代から  
増えています。

自覚症状が  
ないから  
気づきにくい。

毎年  
約3,000人が  
亡くなっ  
ています。

20

歳  
に  
な  
っ  
た  
ら

1年に1回※

子宮頸がん検診

を受けましょう。

5分程度の  
簡単な検査。  
痛みはほとんど  
ありません。

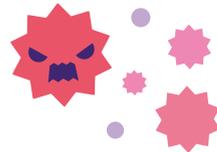
費用は  
無料から  
2,000円程度  
(市町村の検診)

1回でも  
性交渉の経験の  
ある方は検診を  
受けましょう。

※国は2年に1回の受診を推奨していますが、県内のほとんどの市町村では、1年に1回受診できるようにしています。

## 子宮頸がんの原因は？

- ヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルスが主な原因です。HPVは性交渉で感染します。性交渉の経験のある女性なら誰でも子宮頸がんにかかる可能性があります。



## 一次予防「HPVワクチン」の接種

- 対象者は小学6年から高校1年相当の女子で、公費（**無料**）で接種できます。予約が必要ですので、接種場所などをお住まいの市町村のホームページ等で確認しましょう。

## 二次予防「子宮頸がん検診」ってどんな検診？

### ▼一般的な流れ

#### 視診

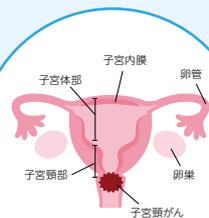
膣鏡を膣内に挿入し、子宮頸部を観察します。

#### 内診

子宮の形、大きさなどを確認します。

#### 細胞診

ブラシやヘラで子宮頸部をこすり、細胞を採取します。



## 検診はどうやって受けるの？

職場で検診を受ける機会のある方

職場のがん検診を受診しましょう。

職場などで検診を受ける機会のない方

市町村のがん検診を受診しましょう。

### ▼一般的な検診までの流れ（市町村のがん検診）

STEP

1 選ぶ

市町村からの案内（郵送）や広報誌、ホームページを見て、検診機関等を選ぶ。

STEP

2 予約する

検診機関に予約する。

STEP

3 受ける

受診券、健康保険証などを持って行き受ける。

市町村が実施する検診は、費用の一部を市町村が負担してくれるので、**無料**から**2,000円**程度の自己負担で受けることができます。

検診で**要精密検査**となった場合、**必ず精密検査**を受けてください。

市町村  
お問い合わせ先

検診日時、費用などは、お住まいの市町村へお問い合わせください。



子宮頸がんは予防できるがんです。詳しくはこちらをご覧ください。

岡山県疾病感染症対策課HP ▶

